



【団体概要】

地域の身近な自然生態系の保全と復元活動を行い、もって持続可能な社会の発展に寄与することを目的とし、千葉市エコリーダー養成講座修了者でスタート。現在は、主にビオトープ作りやその維持管理・活用を通して環境教育を行っている。そこは、地域交流の場、日本文化について学ぶ場、青少年の健全育成の場となっている。

会員数：32人 設立 1999年4月

活動紹介

<実施体制>年間行事予定に基づき、いのちの森の日を実施。プログラムが参加型のため、コアスタッフを中心に参加者（保護者）もスタッフとしてプログラムを運営する。時には、子どもたちがスタッフになる場合もある。また、内容によって外部講師を招き運営している。

<活動>

1. ビオトープ製作及びその維持管理・活用（環境学習）
2. ビオトープを活用した地域交流活動
3. 環境学習プログラムの作成及び実践活動
4. 里山の保全活動
5. 自然体験活動を通しての青少年の健全育成活動

【主な活動実績】

学校ビオトープ作り及び維持管理・活用（稲浜小、幸二小、稲毛二小、真砂三小、扇田小、有吉中、小仲台南小、院内小他）特に、稲毛第二小学校ビオトープは、第2回全国学校ビオトープコンクールで最優秀賞の文部科学大臣賞を受賞。新聞報道多数。

問い合わせ先 〒261-0005 千葉市美浜区稲毛海岸2-2-22-108
 代表者：横田耕明 電話：090-6146-4635 FAX：043-244-1816
 メール：yokota39@gmail.com URL：http://blog.goo.ne.jp/forest-k-y/

モデル事業

「いのちの森の日」及び「いのちの森」の維持管理

■事業期間：20年9月1日～平成21年1月30日

■事業の目的：「いのちの森の日」という自然体験活動を通して、自然の大切さやいのちの大切さに気づき、県に残された自然の保全活動へと目を向け、地球全体へと広がるエコマインドを養成する。

活動の内容

いのちの森（稲毛二小ビオトープ）の維持管理及びその活用として、毎月1回「いのちの森の日」（自然観察・自然遊び）を行う。二十四節気と関連付け、日本の歳時記や文化にも触れる場とする。

また、「田んぼ作り」や「日本の歳時記」に関する行事では、地域の高齢者を名人さんとしてむかえ、他世代交流の場とする。参加型の環境学習のプログラムで、遊びながら自然の仕組みやその大切さ、いのちの大切さを学び、未就学児から高齢者が、一緒に共同作業をする中で、昔の知恵を学んだり、大きな子どもが小さな子どもの面倒をみたりと、参加者に生きる力を育てる大切な体験となっている。

また、毎週末の維持管理活動として、散策路の板の張替え及び掲示板の作り替えを行った。また、いのちの森の日の活動で行う山菜の天ぷらや七草粥などのアウトドア料理のときに使用する流し台を製作した。



活動の様子

今後の方向性

参加者は毎年増えており、活動に対する期待の高さをひしひしと感じられる。特に他地域からの参加者が益々増える傾向にある。

- ・スタッフの増員と共に行政と協働して取り組み、活動を強化したい。
- ・今後、ソーラー設備を導入したい。
- ・後継者の育成に努めたい。